



田植～活着期までの管理作業

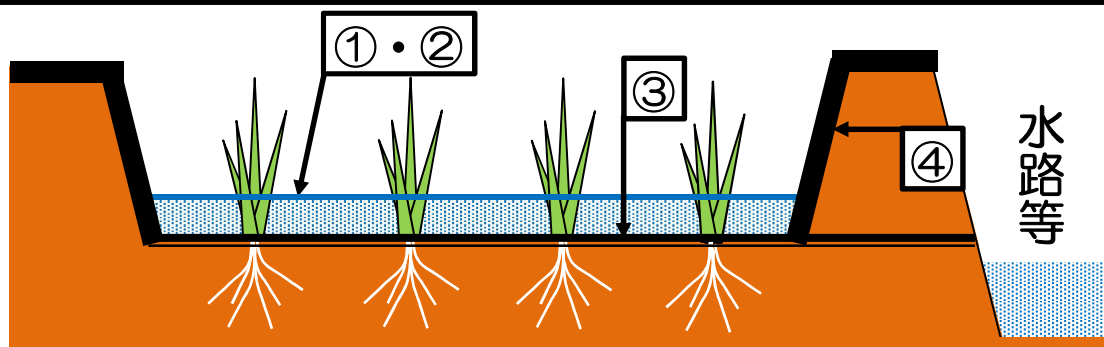


(田植から活着期の管理が生育に大きく影響します！)

1. 除草剤の散布 ～漏水防止と水管理徹底で効果増大～

＊ポイント

- ①散布時は深め（5 cm以上）に湛水
- ②散布後は原則7日間止め水（落水、かけ流しはしない）
- ③田面は平らに
＊田面が水面から出ると処理層が出来ず雑草が発生します！
- ④畦塗りで漏水防止



- ・散布前に農薬ラベルの「対象草種・散布時期」を必ず確認してください。
- ・散布後の補植は植付時に処理層が直接根に触れて薬害を起こす可能性があるうえ、踏込により除草剤処理層を壊し、雑草多発を招くので避けましょう。

2. 田植後の水管理

～健全で丈夫な「根」づくり、ジャンボタニシに対応した水管理～

＊ポイント

- ①間断灌水期間は、浅めに湛水し自然落水により田面が見え始めたら再び浅めに湛水
- ②ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の生息する圃場では、田植後2～3週間水深1 cm程度の浅水管理
＊田面が乾かないよう注意！

